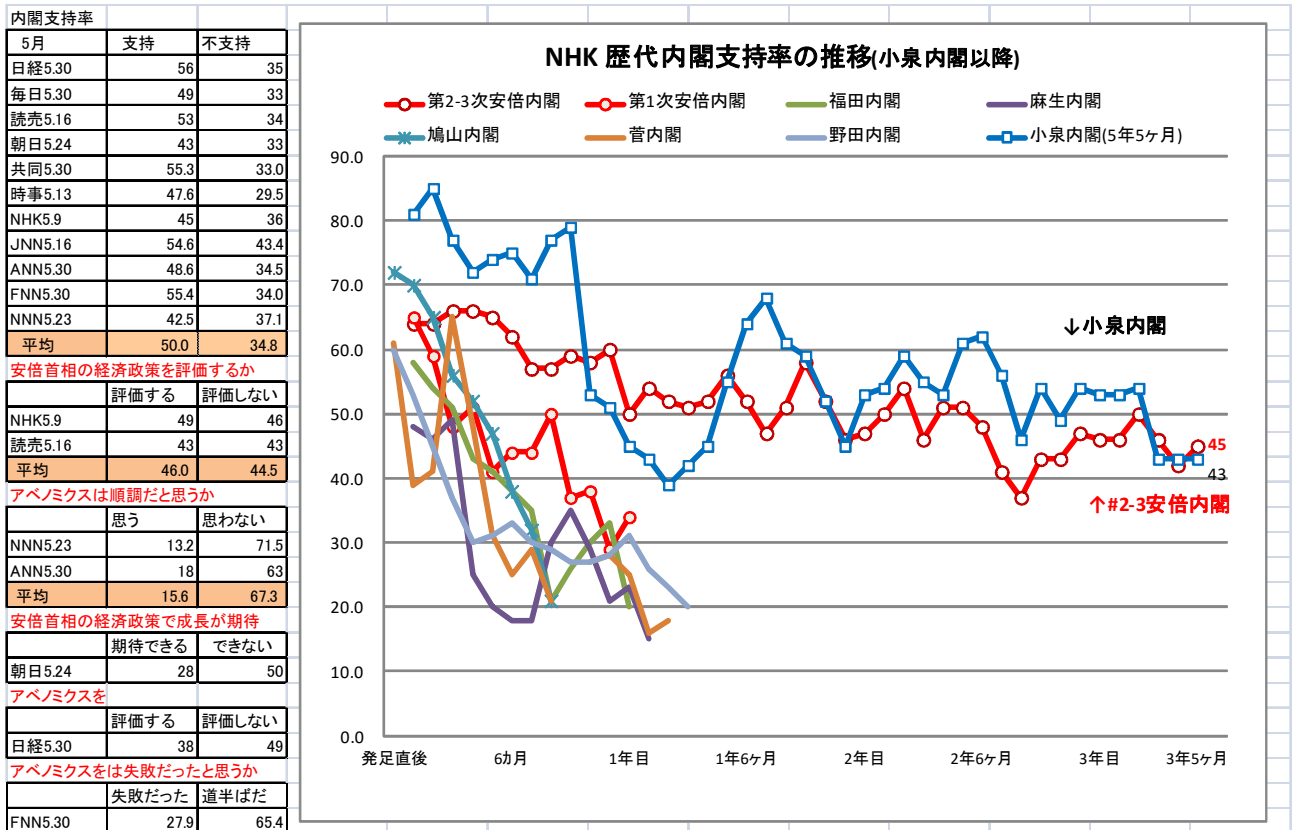


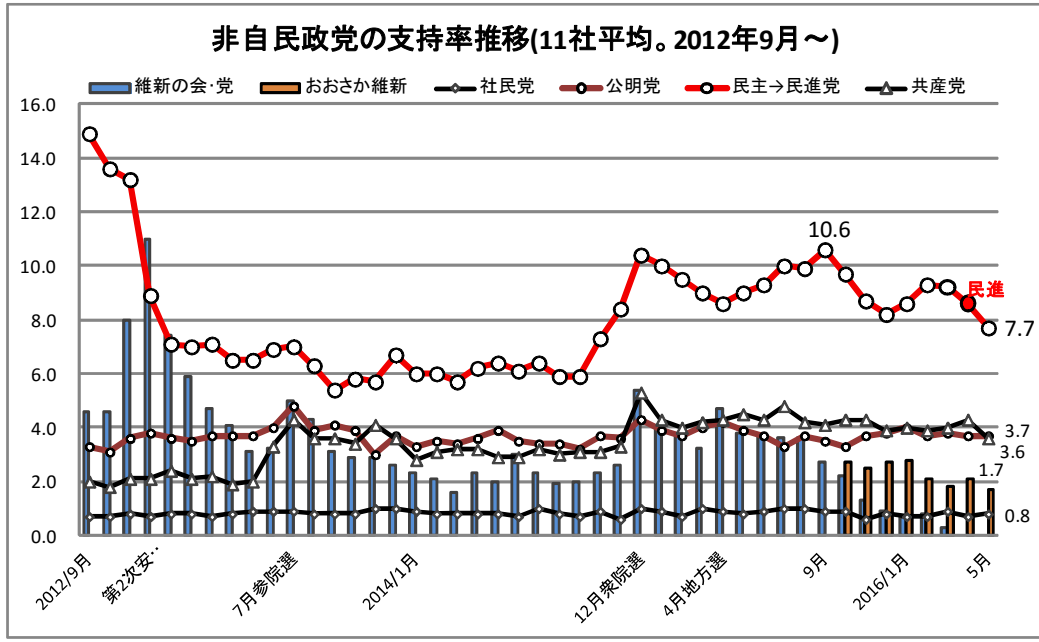
直近の世論調査から－2016. 6. 7(消費増税再延期は「アベノミクスの失敗」45%)

1. 安倍内閣3年5ヶ月 支持率50%(不支持34.8%)…アベノミクス順調16%、成長期待28%

①内閣の支持率は5月は11社平均で50.0%に復調した(不支持は34.8%)。6月1日の国会会期



末を控えてG7(5.26-27)、オバマ大統領の広島訪問という華やかな舞台と、消費税10%引き上げ問題とセットとなった衆参同日選挙への対応など、注目される課題が山積していたが、



久しぶりに内閣支持率50%への回復となった(2015年3月の50.3%以来)。しかし参院選に突入するに当たっては、消費税増税再延期を決めたアベノミクスの評価に対する厳しい目が避けられない。以前から、景気回復感がなく、先の成長見通し

も楽観視できないと世論は見ていたのだが、5月もアベノミクスは順調だと思うのは15.6%、安倍首相の経済政策で成長が期待できると思うのは28%など、厳しい評価になっている。

②政党支持率では、自民党の支持率は37.8%(先月比0.3%増)と、だいたい安定した推移にある。しかし新党結成2ヶ月目を迎えた民進党が7.7%(同▼0.9%減)と低迷している。共産党も今月は3.6%(同▼0.7%減)と元気がなく、おおさか維新1.7%(同▼0.4%減)も伸び悩んでいる。また公明党は3.7%(先月と同じ)、社民党は0.8%(0.1%増)になっていた。

## 2. 参院選日程が確定…野党共闘、民進党への比例代表先が連続減、選挙予測一覧は？

衆議院選挙とのダブル選挙を行うことに			参院選での野党候補の一本化に		
	賛成	反対		賛成	反対
5月5社平均	39.6	42.9	日経5.30	35	42
4月6社平均	42.3	38.4	FNN5.30	48.2	41.6
3月6社平均	44.0	37.1	4月2社平均	48.8	39.1
2月2社平均	49.3	37.2	3月3社平均	46.7	33.3
読売1.11	43	41	2月2社平均	54.9	32.5
			1月3社平均	51.3	32.1
参院選では自公過半数維持に			安保関連法の評価		
	賛成	反対		評価する	しない
5月2社平均	51.7	39.3	読売5.16	41	45
4月2社平均	51.7	39.8	4月3社平均	38.3	48.0
3月2社平均	47.2	42.5	3月5社平均	36.6	47.6
			2月2社平均	35.8	49.4
			1月4社平均	36.4	50.7
参院選で改憲2/3議席を占めた方が良いと			安保関連法を廃止する必要があると		
	賛成	反対		そう思う	思わない
5月3社平均	40.7	44.3	FNN5.30	38.8	52.2
4月FNN	48.0	41.6	4月2社平均	35.7	47.9
3月2社平均	38.3	43.4	3月2社平均	36	39
2月4社平均	39.6	46.4	共同2.22	38.1	47.0
1月2社平均	36.5	46.0			

③参院選を控えて国会は閉会し(6.1)、1月4日に開会した今国会は環太平洋経済連携協定(TPP)交渉を主導した甘利経済相の金銭疑惑で空転。TPP関連法などは、秋の臨時国会以降に見送られた。安倍首相はダブル選挙を狙っていたのだが、熊本地震なども重なり、世論も段々ダブル選挙に慎重になってきて、5月調査ではダブル選挙賛成は39.6%、反対が42.9%と、ついに逆転した。参院選の時期は6.22公示・7.10投票で決まった。参院選の結果については、政権の安定(自公過半数の維持)を求める世論が多い(賛成51.7%・反対42.9%)という傾向は変わらない

が、首相の狙っている改憲勢力2/3議席を与えることには与しない(賛成40.7%、反対44.3%)という基調がずっと続いている。

④“民共合作”と言われながらも、野党候補の一本化については1月以来、賛成・支持層が多く、5月もFNNが「賛成48.2%・反対41.6%」と同傾向だったのだが、今回初めて調査した日経では「賛成35%・反対42%」と真逆の傾向を出した。日経報道によると、民進党支持層は73対19、共産支持層も63対27で「野党候補一本化」を支持しているのだが、無党派層が31対36で「野党候補一本化」に否定的なのだという。ただ日経調査は、中立・無回答が23%と多く、実質三択回答みたいになっているようなので、この点を次回まで留意しておきたい。

参院選1人区での野党共闘は全32選挙区で成立した。“野党共闘”は、今回の参院選の最重要注目点になっている。いわばこの指針(接着剤)となる安保関連法については、法案成立(昨年9月)・施行(今年3月)以降もズーッと「評価しない」が「評価する」を凌駕してきているのだが、安保関連法を「廃止する必要があると思うかどうか」と重ねて聞くと、「廃止する必要がある」より「そう思わない」が多数になっている。以前からも指摘していることだが、安保関連法には未だに強い批判があるものの、「核武装を誇示する北朝鮮」「中国の南シナ海進出」などでの日米同盟・対米関係への配慮に加えて、「出来てしまったものはしょうがない」という現状追認、既成事実化が進んでいる傾向があるのだろう。

⑤比例代表先では統一名簿方式は無理になったようだが、3月下旬に結成された民進党は、その勢いを減殺しているかのように見える。民主・民進党への比例代表先(投票予定)は1月11.3%から3月14.6%まで順調に支持を上げていたが、民進党結成の翌月は13.4%、そして5月は12.4%に低下した。反面の自民党が特に勢いを得ているという訳ではないが、それでも1月以

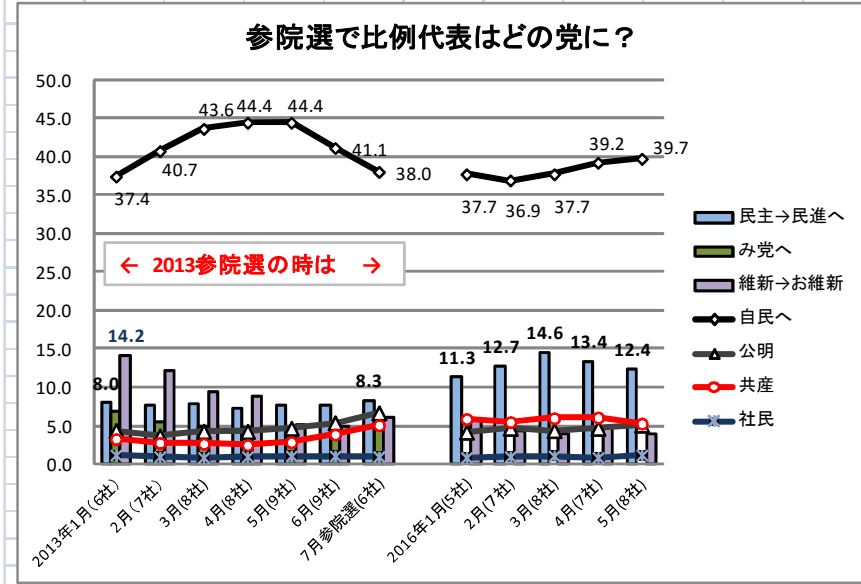
参議院選挙での比例投票は ※2016年参院選前

	自民	民主・民進	公明	共産	社民	お維新	維新	生活	心	未定
1月5社平	37.7	11.3	4.2	5.9	0.9	5.9	1.5	0.5		27.9
2月7社平	36.9	12.7	4.7	5.5	1.0	4.3	1.5	0.7	0.1	25.8
3月8社平	37.7	14.6	4.4	6.0	1.1	4.0	2.0	0.6	0.5	21.9
4月7社平	39.2	13.4	4.7	6.1	0.9	4.8		0.7	0.3	18.5
5月8社平	39.7	12.4	5.1	5.3	1.2	3.9		0.9	0.5	24.1

来では 37.7%から 39.7%へと 2.0%増加させた。

2013 年参院選時と比較すれば、民主・民進党や共産党は相対的には健闘しているとも言えるのだが、今後の野党共闘などの効果を注視していきたい。

⑥恒例の選挙予測も揃い始めたが、6.2 日刊ゲンダイは「安倍自民に激震 参院選予想で現有割れ 48 議席の現実味」とする記事を出した。出所は自民党の調査らしいが、この一覧表では野上忠興(6/2)にあたる。それによると「安倍首相は『連立与党で改選議席の過半数(61 議席)』を勝敗ラインに設定。



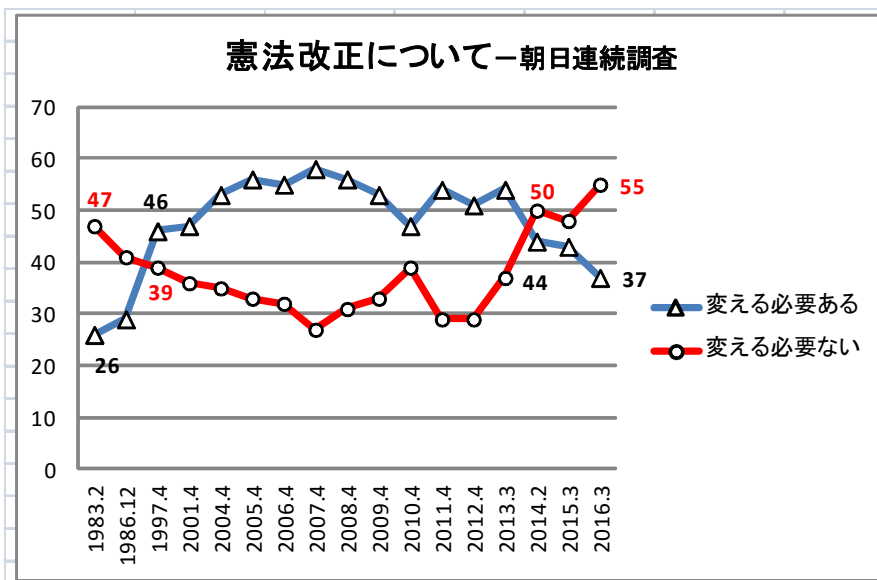
3 年前の参院選(自民 65、

	自	公	民	共	生	社	維	元	心	改	他
改選議席	50	9	43	3	2	2	3	1	0	1	7
週刊現代(4/23)	44	14	45	5	2	2	6	0			3
三浦博史(4/26)	56	13	28	11	1	1	8	0	0	0	3
週刊文春(5/5)	54	12	30	9	3	1	8	0	1	0	3
鈴木哲夫(5/3)	54	13	31	11	1	1	6	0	0	0	4
野上忠興(6/2)	48	13	35	11	1	1	6	0	0	0	6
選挙ドットコム( )	65	14	25	10	1	0	5	0	0	0	1

公明 11) と比べるとかなり低い数字だが、実際、選挙情勢を分析すると確かにそう甘くない。」とのこと。1 人区(32 選挙区)は、自民党が「18 勝 14 敗」と予測し、複数区(北海道と神奈川)でも「自民 2 人目が苦しい」と分析されている。この一覧表では、週刊現代(4/23)が「自公で 58 議席」と厳しい予測を出しているが、他の 4 レ

ポートは「自公過半数クリア」の予測になっている。

### 3. 参院選の注目点 - (1) 憲法改正問題



2016年5月3日報道 ※郵送調査

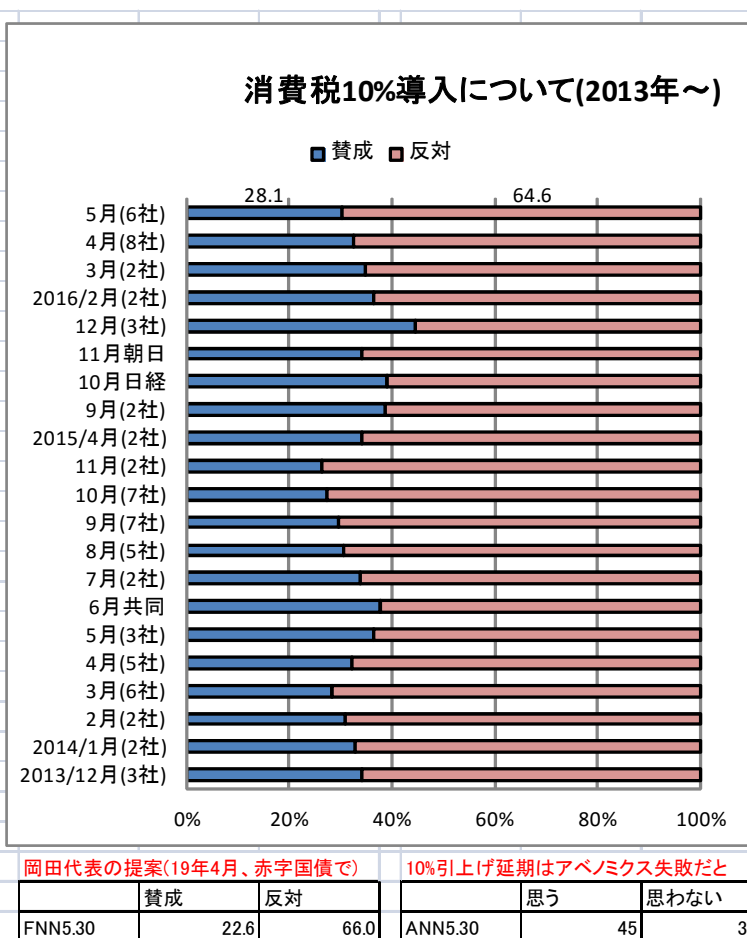
朝日新聞	賛成	反対
9条改正	27	68
安保関連法	34	53
国防軍創設	22	71
緊急事態条項	33	52
安倍首相下で改憲	25	58
<b>憲法改正に賛成か</b>		
	賛成	反対
ANN5.30	32	47
4月2社平均	37.6	46.2
FNN3.21	41.3	47.3
<b>安倍首相在任中に憲法改正の考えに</b>		
	賛成	反対
共同5.30	35.0	54.9
4月2社平均	29.6	54.8
3月6社平均	34.4	52.4
日経1.25	34	46

⑦最近は安倍首相は、参院選後の憲法改正への着手について、表だって語ることは少なくなっているが、あきらめているわけではない。前記の朝日連続調査を見てみると、憲法改正問題に対する国民世論が明らかに変わってきていることが分かる。1980年代後半、環境権や知る権利など、憲法が制定された当時には想定されていなかった新たな権利問題が登場し、これに即して「変えても良い」という風潮が広がってきたのだが、これが2013年から2014年にかけて逆転した。安倍政権の登場だ。彼はまず改憲の発議要件を衆参2/3以上から「過半数」に引き下げる96条改正を試みたが強烈な批判を浴びて断念。続いて集团的自衛権の解釈変更を閣議決定し、安保関連法を強行採決した。そして今参院選後は緊急事態条項の追加など「現実路線」を突破口にして9条などの本丸に切り込む「お試し改憲」に踏み込みたい考えだ。しかし国民はそういう意図を分かっているようだ。これまでも紹介してきたように、今月も憲法改正には「賛成32%・反対47%」(FNN)、安倍首相在任中の憲法改正に「賛成35.0%・反対54.9%」(共同)。朝日の連続調査でも「9条改正に賛成27・反対68」「国防軍創設に賛成22・反対71」、緊急事態条項創設についても「賛成33・反対52」とハードルが高くなっている。

(2) 消費税10%への値上げ…反対・延期を65%、公約違反だ24%、アベノミクスの失敗45%

⑧消費税の10%への再値上げについては、「賛成・予定通り実施を」は28.1%、「反対・延期すべき」が64.6%だった(6社平均)。下図にあるように調査開始以来の2年半あまりを平均化しても、賛成は30%、反対65%になる。再延期の場合に(信を問うための)「衆議院解散が必要か」

消費税10%の来年4月導入に(賛否or延期)		
	賛成・予定通	反対・延期
読売5.16	25	69
NNN5.23	32.8	59.7
朝日5.24	29	59
共同5.30	24.7	70.9
毎日5.30	25	66
日経5.30	32	63
平均	28.1	64.6
NHK5.9	21	49
※どちらとも 26		
消費税10%への引き上げについて		
JNN5.16	①予定通り実施 16	
	②賛成だが延期を 41	③8%のままに 41
FNN5.30	①予定通り18.6	④反対40.7
	②遅らせる35.9	③当面9%に4.0
消費税10%延期の場合は衆院解散必要か		
時事5.13	①必要だ 31.5	
	②必要ない 35.4	③夏の参院選で 24.5
消費税10%延期の場合は衆院解散必要か		
	思う	思わない
FNN5.30	33.6	62.0
消費税引き上げで景気に悪い影響の不安		
	感じる	感じない
朝日5.24	79	18
引上げ延期で社会保障に悪い影響の不安		
	感じる	感じない
朝日5.24	75	30
10%引き上げの先送りは公約違反だと		
	思う	思わない
FNN5.30	24.2	72.2



という問いに対して「必要だと思う」(FNN)のは33.6%で、「そう思わない」が62.0%。しかし消費税増税再延期による「景気への影響を懸念する」(朝日)のは79%、「社会保障への影響を懸念する」(毎日)の

75%。安倍首相の「先送りは公約違反か」には「そう思う」24.2%、「思わない」72.2%と同情的反応だ。野党代表で先んじて増税再延期を提案した民進党岡田代表の提案(5.18党首討論。

2019年4月に10%に、社会保障財源は赤字国債で)については「賛成 22.6%・反対 66.0%」という数値になっている。

また「10%引き上げ延期はアベノミクスの失敗だと思うか」との直接的な問いには「失敗だと思う 45%・思わない 36%」(ANN)となっている。参院選では、こうした論点だけでなく(G7で議長をつとめた)「日本の安倍晋三首相が『世界経済の現状は 2008年のリーマンショック前の状況だ』という悲観的で人騒がせな発言で、出席していた各国の首脳らを驚かせた」(CNN)と世界各国のマスコミが批判し始めている。また「サミット資料(リーマン・ペーパー)を誰が作成したのか分からない」という安倍政権お得意の官邸主導の情報操作に対する批判も高まりそうだ。口が裂けても「アベノミクスは失敗した」とは言えない安倍首相。しかし、すでに欧米の大半のメディアでは「アベノミクスは失敗に終わった」との観測が多いと言われている。

#### 4. その他…熊本地震、オバマ広島訪問、舛添東京都知事、沖縄事件など

熊本地震に対する政府・自治体の対応			オバマ大統領は原爆投下を謝罪すべきと			舛添知事の釈明は納得できる？		
	肯定的	否定的		思う	思わない		納得できる	できない
NHK5.9	61	32	NNN5.23	31.9	53.5	JNN5.16	6	89
読売5.16	56	30	FNN5.30	24.8	68.2	NNN5.23	2.5	90.2
JNN5.16	56	37	ANN5.30	16	70	FNN5.30	1.6	97.0
NNN5.23	43.5	33.8	平均	24.2	63.9	平均	3.4	92.1
朝日5.24	54	29	G7での首相リーダーシップ(働きぶり)評価			舛添知事は知事にふさわしい？		
平均	54.1	32.4		評価する	評価しない		ふさわしい	ふさわしくない
G7伊勢志摩サミットで成果が期待できるか			毎日5.30	52	34	JNN5.16	13	67
	肯定的	否定的	日経5.30	62	21	舛添知事は辞任する必要がある		
NHK5.9	13	25	FNN5.30	66.7	23.9		と思う	思わない
※どちらとも 53			平均	60.2	26.3	NNN5.23	70.1	17.8
オバマ大統領の広島訪問に			米国の原爆投下をどう思うか			毎日5.30	77	13
	肯定的	否定的	朝日5.24	①非人道的で許せない 31		FNN5.30	79.2	16.4
読売5.16	93	3	②非人道的だが、恨みにもっていない 33		ANN5.30	75	14	
NNN5.23	90.3	4.1	③米国はやむを得ない手段だった 22		舛添知事の対応は適切か			
朝日5.24	89	4	④戦争だから当然 8			適切だ	適切でない	
共同5.30	98.0	1.1	沖縄事件－日米地位協定を改定すべき			朝日5.24	8	83
毎日5.30	90	2		賛成	反対	ANN5.30	9	83
日経5.30	92	4	共同5.30	71.0	17.9	自治体がファーストクラスを使用すること		
FNN5.30	97.5	1.8	FNN5.30	83.7	13.1		賛成	反対
ANN5.30	96	1	ANN5.30	89	4	JNN5.16	27	60
平均	93.2	2.6	平均	81.2	11.7	北方領土問題は解決に向かうと		
NHK5.9	70	2	沖縄事件－米軍基地はあった方がよい？				解決に向かう	そう思わない
※どちらとも 23			毎日5.30	①維持・強化 9		読売5.16	19	73
広島訪問は核兵器のない世界に発展を			②なくすべき 20 ③減らすべき 59		高校生の学外デモ・集会に届け出			
	期待出来る	できない	沖縄事件－政府の対応は				必要	不必要
朝日5.24	36	50		適切だ	適切でない	毎日5.30	50	39
日経5.30	49	42	日経5.30	37	46	参院選投票		
平均	42.5	46.0	ANN5.30	34	41		必ず行く	たぶん行く
核なき世界は実現できると思うか			平均	35.5	43.5	毎日5.30	60	28
	思う	思わない	原発の再稼働に			読売5.16	56	35
FNN5.30	24.5	70.3		賛成	反対			
			NHK5.9	15	47			
※どちらとも 30								

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)